

第93回経営協議会議事要旨

日時： 令和2年2月19日（水） 13:30～15:10
場所： 山口大学事務局1号館4階 特別大会議室，山口大学東京事務所
出席者： 岡，古賀，田中，小坂，福田，堀，根ヶ山，白井，三浦，鍋山，
今村，岩田，梅本，鎌田，齋藤，下村，末永，竹下，七村，原山
欠席者： 杉野，安達，桜井，弘中
オブザーバー： 土谷，三石

議題：

議事に先立ち，学長から，新型コロナウイルスに関する本学の対応について，説明があった。

I. 議事要旨の確認

学長から第92回経営協議会の議事要旨の確認があり，原案のとおり承認された。

II. 審議事項

1. 国立大学法人山口大学学則の一部改正について

古賀理事から，国立大学法人山口大学学則の一部改正について，審議資料1に基づき説明があり，審議の結果，了承され，役員会に諮ることとなった。

2. 山口大学大学院学則の一部改正について

古賀理事から，山口大学大学院学則の一部改正について，審議資料2に基づき説明があり，審議の結果，了承され，役員会に諮ることとなった。

3. 運営費交付金の配分に係る評価結果（KPI・共通）にもとづく令和2年度予算編成方針（案）について

小坂理事から，運営費交付金の配分に係る評価結果（KPI・共通）にもとづく令和2年度予算編成方針（案）について，審議資料3-1～3-4に基づき説明があり，審議の結果，了承され，役員会に諮ることとなった。

（主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員，◇は学内委員）

○評価の達成に取り組むに当たりそこから何を学ぶかということが重要である。山口大学に必要な課題は何かをより学内で協議し，教育研究の改善を目的として取り組むべきである。同時に，新たな課題にチャレンジしていくことは重要なので，今後は加点になるような目標を戦略的に立てていくことが大切である。

◇山口大学の課題及び特色をどのように教育研究の改善に落とし込んでいくかというのを念頭に取り組んでいきたい。

○「教員養成課程卒業者の山口県内の教員占有率の増加状況」は，目標設定としては妥当だったのか。

◇ルール的には，内容及び数値目標が適正か確認し，妥当な評価指標でなかった場合は根拠があれば途中で変更しても良いこととなっており，「教員養成課程卒業者の山口県内の教員占有率の増加状況」については，指標の検証や見直しを行っていたが変更を認められなかった。現在の山口大学には挑戦的な評価指標だったので，この結果を参考にし，今後につなげていきたい。

III. 報告事項

1. 理事・副学長の選考について

岡学長から，理事・副学長の選考について，報告資料1に基づき報告があった。

2. 機構及び事務局の再編について

古賀理事から，機構及び事務局の再編について，報告資料2に基づき説明があった。

(主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員、◇は学内委員)

- データサイエンス教育に受験生は魅力を感じるので、データサイエンスを担える教員が40名ほどいるということは大きな財産であり、ぜひ積極的にアピールしていただきたい。
- ◇山口大学は情報・データ科学教育センターを新たに創設し、専門の教授をデータサイエンス基礎教育のみでなく各学部・学科が目指すデータサイエンスレベルごとに配置していくという方法も現在検討しており、データサイエンス教育には大いに注力している。外部へのアピールも積極的に行っていく。
- 情報・データ科学教育センターについて提案だが、今後は民間企業でもテクノロジーに対する関心が非常に強くなってくるので、このセンターに在籍する教員が講師として積極的に大学外で活躍し、そのインセンティブを一部大学収入とするという方法も期待できる。
- ◇現段階では工学部の教員が座長となって宇部市と5Gに関するプロジェクト進めており、また、来年度からは山口県と共同でデータサイエンスリカレント教育をスタートする。活躍した教員にインセンティブを付与するとともに、大学として対価を受け取るという方法も検討していきたい。
- 機構の再編に関しては、機構間で情報を共有することを心掛けていただきたい。また、今後の図書館の役割はデータを集約する場所であり、データマネジメントの発信源やオープンサイエンスの拠点となるという動きが世界的にある。そして、研究のサポート機関となる可能性も大いにある。このような将来を先読みした視点で図書館のあり方を検討してもらいながら取り組んでいただきたい。
- ◇将来的な図書館のあり方を意識しながら取り組んでいきたい。

3. 令和2年度運営費交付金等予定額について

小坂理事から、令和2年度運営費交付金等予定額について、報告資料3-1及び3-2に基づき説明があった。

4. 令和2年度一般入試志願状況について

福田理事から、令和2年度一般入試志願状況について、報告資料4に基づき説明があった。

5. 令和元年度作成 自己点検評価書について

白井副学長から、令和元年度作成 自己点検評価書について、報告資料5に基づき報告があった。

IV. その他

1. 山口大学の主な動きについて

伊東総務企画部総務課長から、山口大学の主な動きについて、その他資料1に基づき報告があった。

2. 地域スタートアップの支援に関する山口フィナンシャルグループとの共同取組みについて

小坂理事から、地域スタートアップの支援に関する山口フィナンシャルグループとの共同取組みについて、その他資料2に基づき報告があった。

3. 山口大学レポートについて

小坂理事から、山口大学レポートについて、机上配付資料に基づき報告があった。

4. その他

(主な意見及び質疑応答は次のとおり ○は学外委員、◇は学内委員)

- 山形大学のIRについて、学生の出身地別のデータを集め、学生が多い地域にプロモーションをかけていくという記事が日経新聞に掲載されていた。経営するという観点で、戦略的に広報を行っていくことは良いアイデアである。

◇山口大学が蓄積しているデータも、戦略的に利用していくよう取り組んでいきたい。

< 参考資料 >

第92回経営協議会議事要旨（案）

< 審議資料 >

- 1 国立大学法人山口大学学則の一部改正について
- 2 山口大学大学院学則の一部改正について
- 3-1 運営費交付金の配分に係る評価結果（KPI・共通）について
令和2年度「3つの重点支援の枠組みによる配分」（KPI評価）
- 3-2 令和2年度「成果を中心とする実績状況に基づく配分」（共通指標）
- 3-3 令和2年度予算編成方針（案）について
- 3-4 【参考資料】教育研究の評価向上を加速化させる予算配分方法（案）

< 報告資料 >

- 1 2020年4月からの理事・副学長について
- 2 機構及び事務局の再編について
- 3-1 令和2年度運営費交付金等予定額について
- 3-2 【参考】令和2年度運営費交付金の前年度増減要因について
- 4 令和2年度一般入試志願状況について
- 5 令和元年度作成 自己点検評価書について

< その他資料 >

- 1 山口大学の主な動き—令和元年12月～令和2年2月—
- 2 地域スタートアップの支援に関する山口フィナンシャルグループとの共同取組みについて
- 3 （机上配付）山口大学レポート